

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	電源立地地域対策交付金事業			事業コード	1644
担当課等	建設部 道路管理課			担当係名	
課長名	建設部 道路管理課	担当者名	宮野 健一	電話番号	2719

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	施策	快適な居住環境の実現	コード						
			7			3						
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 2目 電源立地地域対策交付金事業(001-07)							
特記事項												
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度											
事務事業の概要	電源立地地域の住民の生活環境・交通安全施設の機能向上及び交通安全を図る。											
根拠法令等												
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)												
四十四田ダムの設置により、周辺道路、公園、桜並木、親水施設等が整備され、それらを利用した各種イベント等の開催に伴う通行車両の増加や、松園地区における幹線道路及び主要道路による交通量の増加等の要因から道路施設の損傷が著しく進行し、通行に支障をきたしている。このことから、円滑で安全な道路交通に資するため、道路施設の維持補修を実施し、住民生活の利便性の向上と産業の振興に寄与する事業を促進することにより、地域住民の福祉の向上を図る。												
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか												
道路側溝、道路附属施設の老朽化及び劣化が進行しているため改修等の要望がある。												
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか												
事業は交付金による事業であるが、交付期間が設定されているため、今後事業費の減少が見込まれる。そのため、コスト縮減及び効率的な事業の推進が必要である。												

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	発電用施設周辺地域における市道及び地域住民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 計画延長	単位	m
				B. 補修箇所	箇所	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 道路維持作業車を更新した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 道路維持補修用小型掘削機の購入	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 施工延長	単位	m
				B. 補修箇所	箇所	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	安全施設の損傷の補修を行うことにより、生活環境と歩行者の安全及び通行機能の向上を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 整備済延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	m
				B. 計画総延長に対する整備達成率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 補修箇所数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	箇所	
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位: %) 市道除雪率(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	計画延長	m	425	720	690	0	0	0	年度
対象 指標B	補修箇所	箇所	0	0	0	70	70	70	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	施工延長	m	425	720	690	0	0	0	年度
活動 指標B	補修箇所	箇所	0	0	0	70	70	70	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	整備済延長	m	8999	9719	10409	10409	10409	10409	年度
成果 指標B	計画総延長に対する整備達成率	%	49	53	57	57	57	57	年度
成果 指標C	補修箇所数	箇所	0	0	0	100	100	100	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	12,096	8,400	8,782	6,437	2,405	5,000	*****
財源 内訳	④国	千円	12,096	8,400	8,782	6,437	2,405	5,000	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	12,096	8,400	8,782	6,437	2,405	5,000	*****
	延べ業務時間数	時間	300	300	300	300	300	300	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,296	9,600	9,982	7,637	3,605	6,200	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由:老朽施設の補修整備により、交通の安全確保が期待できる。	
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由:市道の道路管理者である市が行なうことが妥当である。
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由:市内の整備の優先順位が高い箇所の検討の余地はある。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他	理由:道路施設が劣化している箇所が多いため現状で妥当である。
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		その内容:劣化した道路施設を補修整備することで安全性を向上させることができる。	
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		その内容:快適で安全な道路環境が保てない。	
公平性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____
		※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？	統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:必要なものから実施しているため事業費の削減はできない。		
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由:設計と監督に必要な業務量であり削減できない。	
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:国の交付金により実施しているため。		
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由:国の交付金により実施しているため。	

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 更なる安全確保のための維持作業車等の増設が考えられる。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 更なる安全確保のための維持作業車等の増設が考えられる。

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)	
	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	
今後 の 方向性 と 改革 改善 案	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	<p>・電源立地地域周辺の道路環境の向上のため、必要な事務事業である。 ・平成22年度は、道路維持作業車の更新を行い、維持管理業務の効率化を図った。</p>
	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	
	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	
(3)今後の事務の方向性(改革改善案)		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		
	 方向付けの理由と改革改善の内容 ・一次評価の四項目全てが妥当であり、現状維持とする。			